

| | | | | | | |
|---------|----|---|------------|-------|----------|---|
| 教科 名 | 国語 | 科 目 名 | 国語総合（古典分野） | 履修クラス | 1年全クラス | |
| | | | | 担 当 者 | 荒井・斉藤・長島 | |
| 使用教科書 | | 「高等学校 国語総合 改訂版」三省堂 | | | 履修単位数 | 3 |
| 副教材等 | | 「新版カラー版新国語便覧」第一学習社、「標準 新古典文法」「標準 新古典文法問題集」文英堂、「新訂版 必携明説漢文ノート」尚文出版 | | | | |

| | |
|---|---|
| 学習のねらい・育てたい力・目標 | 評価の観点・評価方法など |
| <p>古典に対する興味・関心を高め、思考力を伸ばし心情を豊かにする。</p> <p>古典常識や古典文法の基礎基本の定着と、人物の心理、情景などを理解する。</p> | <p>学期中の中間考査、期末考査、学年末考査、授業内の小テスト、提出物等の成果を総合的に判断する。</p> |

| 年 間 授 業 計 画 | | | |
|-------------|----------------------|---|---|
| 月 | 予定 時数 | 単 元 | 学 習 内 容 ・ 学 習 活 動 |
| 4 | 中間 考査 まで 18 | 説話『宇治拾遺物語』「田舎の児、桜の散るを見て泣くこと」 | <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的仮名遣い、音読のしかた ・古語辞典の引き方 ・文節、品詞、単語など文法の基礎事項 ・説話文学や古典常識の理解 |
| 5 | | | 随筆『徒然草』「公世の二位のせうとに」 |
| 6 | 期末 考査 まで 21 | 歌物語 『伊勢物語』 「芥川」 | |
| 7 | | | 「東下り」 |
| 9 | 中間 考査 まで 21 | 漢文 「漢文訓読法の基本」、 「五十歩百歩」、「借虎威」、「蛇足」 | |
| 10 | | | 期末 考査 まで 21 |
| 11 | 2 | 3 | |
| 12 | | | |

| | |
|--|---------------------------|
| 担当者からのメッセージ | (授業の受け方・家庭学習の仕方・受験勉強の仕方等) |
| <p>古典を読むことで、日本の歴史や文化・伝統に関心が深まり、また、自分自身のものの見方・考え方が広がっていき、人生が豊かになります。古典を読むためには、古典文法、古典単語、古典常識を理解し、自分で文章読解を進めていく必要があります。日々の予習、復習を着実に積み重ねて下さい。</p> | |

